

調 查 票

生涯学習に関する市民アンケート調査

ご 協 力 の お 願 い

■ アンケートのお願い

「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や、公民館における講座等の社会教育などの学習機会に限らず、自ら進んで行う学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などの様々な学習活動のことを指します。

今回、大津市教育委員会では、市民の皆様が、ふだん、どのような事柄を学びたいと思っ
ていらっしゃるのか、また、どのようにして学んでいらっしゃるのかなどを調べるため
に、滋賀大学社会連携研究センターと共同でアンケート調査を行うことになりました。

このアンケートの結果を生かして、大津市の生涯学習をより良いものにしていきたいと
考えております。お忙しいところ、ご面倒をおかけいたしますが、このアンケートのねら
いをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートは、どなたがお答えになったのか分からないようにして、すべて
数字で整理しますので、あなたがお答えになった事柄が外部に漏れたり、ご迷惑をおかけ
したりすることは決してありません。お手数でございますが、お答え下さったアンケート
は、同封の封筒に入れて、6月24日までにお返し下さい。

■ お答えになるときの注意

- * このアンケートは、宛名に記されたご本人がお答え下さい。
- * ご本人が何らかの都合でお答えができず、ご家族に20歳以上の方がおられる場合
は、その方が代わってお答え下さい。
- * 質問によっては、○を付けていただく数が違います。一つだけ選んでいただく場合
と、いくつか選んで付けていただく場合がありますので、ご注意ください。
- * () には、あてはまることならを分かりやすくお書き下さい。
- * アンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
土・日を除く開庁日の8時40分から17時25分までをお願いいたします。

大津市教育委員会事務局生涯学習課 TEL 528-2635 (直通)

※ この調査は、大津市教育委員会が㈱地域社会研究所へ委託して実施しています。



■生涯学習のイメージについてお聞きします

問1 「生涯学習」とは、1. ～9. のようなことをいいます。これらのうち、あなたはどのようなイメージを持っていましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと
2. 趣味・教養を高めること
3. 職業上必要な知識・技能を身に付けること
4. 高齢者の生きがいを充実すること
5. 生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする
6. 公民館など自治体の講座や教室における学習活動
7. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室における学習活動
8. 学校における学習活動
9. 健康・体力づくりをする
10. その他（ ）

■生涯学習の実態と必要性についてお聞きします

問2 あなたは、この1年くらいの間に、「生涯学習」をしたことがありますか。
（○を1つ）

- | | | | |
|-------------|-------|------------|-------|
| 1. よくした | 【問3へ】 | 2. 時々した | 【問3へ】 |
| 3. あまりしなかった | 【問6へ】 | 4. 全くしなかった | 【問6へ】 |

問2で1. か2. に○を付けた方にお聞きします

問3 あなたは、この1年くらいの間、どのくらい学習をしましたか。
（○を1つ）

- | | |
|------------|----------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 |
| 3. 月2～3回程度 | 4. 年数回程度 |

問4 あなたは、どのような学習をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など）
2. 教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）
3. 社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境など）
4. 健康・スポーツ（健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など）
5. 家族生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）
6. 育児・教育（家庭教育・幼児教育・教育問題など）
7. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
8. 情報端末（コンピュータやタブレット端末など）やインターネットに関すること
（プログラムの使い方、ホームページの使い方など）
9. ボランティア活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校（高等・専門・各種学校・大学・大学院など）の正規課程での学習
12. その他（ ）

問5 あなたは学びを通して、地域の人たちとの交流・付き合いの広がりを感じていますか。(○を1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 大いに感じている | 2. まあ感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 全く感じていない |

問6 問2で3. か4. に○を付けた方にお聞きします。あなたが「生涯学習」をしなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や家事が忙しくて時間がとれないから
2. 学習のための費用がかかるから
3. 講座や教室などの開設の時間・時期が適当でないから
4. 学習機会の情報(内容・場所)が入手できないから
5. いっしょに参加する仲間がいないから
6. 指導者や運営の仕方が自分に合わないから
7. 身近なところに施設や場所がないから
8. 自分の希望にあう講座や教室などが無いから
9. 家族や職場などの周囲の理解が得られないから
10. 学習内容に魅力がないから
11. 自分の意思が弱いから
12. 計画がうまく作れないから
13. 人前が出るのがおっくうだから
14. その他 ()

問7 あなたは、今後「生涯学習」をしたいと思いますか。(○を1つ)

- | | | | |
|-------------|-------|------------|-------|
| 1. ぜひしたい | 【問8へ】 | 2. できればしたい | 【問8へ】 |
| 3. あまりしたくない | 【問9へ】 | 4. 全くしたくない | 【問9へ】 |

問8 問7で1. か2. に○を付けた方にお聞きします。あなたは、今後どのような学習をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踏・書道・レクリエーション活動など)
2. 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)
3. 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境など)
4. 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)
5. 家族生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)
6. 育児・教育(家庭教育・幼児教育・教育問題など)
7. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)
8. 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)
9. ボランティア活動のために必要な知識・技能
10. 自然体験や生活体験などの体験活動
11. 学校(高等・専門・各種学校・大学・大学院など)の正規課程での学習
12. その他 ()

■生涯学習の満足度・重要度についてお聞きします

問9 下記の「生涯学習」について、あなたの「満足度」と「重要度」について、それぞれあてはまるものに○を1つ付けてください。「満足度」については、行っていないものは、「判断できない」に○を付けてください。

	満足度					重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	判断できない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
公民館や社会教育施設などの公の機関による講座や教室	4	3	2	1	9	4	3	2	1
大学や専門学校、高等学校などの社会人を対象とした科目、コース	4	3	2	1	9	4	3	2	1
職場での教育・研修	4	3	2	1	9	4	3	2	1
カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の講座や教室	4	3	2	1	9	4	3	2	1
図書館、博物館など、社会教育施設の充実	4	3	2	1	9	4	3	2	1
人権講座の開催などによる人権・生涯学習の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1
ジュニアリーダー育成などの青少年教育の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1
講座の開催、親の交流支援などによる家庭教育の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1
社会教育関係団体(PTA、女性会、子ども会など)への支援	4	3	2	1	9	4	3	2	1
子どもの読書活動の推進	4	3	2	1	9	4	3	2	1

■学習情報の入手についてお聞きします

問10 あなたは、「生涯学習」に関する情報をどこから入手したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ・ラジオ |
| 3. 雑誌・情報誌 | 4. 市の広報・情報誌 |
| 5. ちらし | 6. 回覧板 |
| 7. 掲示板・ポスター | 8. 電話 |
| 9. ファックス | 10. インターネット |
| 11. ケーブルテレビ | 12. 口伝え・口コミ |
| 13. アプリ・メール配信 | 14. その他 () |
| 15. 入手するつもりはない | |

■学習成果の活用についてお聞きします

問 11 あなたは、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験をどの程度生かしていますか。(○を1つ)

1. 十分に生かしている 【問 12 へ】
2. ある程度生かしている 【問 12 へ】
3. あまり生かしていない 【問 12 へ】
4. 全く生かしていない【問 12 へ】
5. 生涯学習をしていない 【問 13 へ】

問 12 問 11 で 1. ～ 4. に○を付けた方にお聞きします。あなたは、学びを通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社会教育施設での学習に関する指導・助言など
2. 地域の子育て・育児の支援
3. 地域のボランティアや NPO 活動など
4. 子ども会や PTA などの地域活動
5. 自分の人生の充実
6. 健康の維持・増進
7. 自分の家庭生活や、子育て教育
8. 仕事や就職・転職
9. その他 ()
10. 生かしたいとは思わない

■地域と学校の連携・協働についてお聞きします

問 13 近年、学校と地域が連携・協働して学びの機会を提供することで、子どもたちの豊かな育ちを支援していこうという取組が盛んになっています。あなたは、こうした取組についてどう思われますか。(○を1つ)

1. 大いに必要だと思う【問 14 へ】
2. まあ必要だと思う【問 14 へ】
3. あまり必要だとは思わない【問 16 へ】
4. 全く必要だとは思わない【問 16 へ】

問 13 で 1. か 2. に○を付けた方にお聞きします

問 14 あなたは、地域と学校の連携・協働の取組において、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館など社会教育施設と連携した学び
2. 地元企業や団体・組織と協力した学び
3. 高齢者や学生などの地域人材の活用
4. 学校行事等への地域住民の参加
5. 部活動での指導や交流
6. 地域住民による登下校指導などの安全管理
7. 放課後の居場所支援
8. 貧困家庭の子どもたちに対する支援
9. 行事・事業の合同開催
10. その他 ()

問 15 あなたは、問 14 に示したような活動に、地域住民として参加したいですか。
(○を1つ)

1. ぜひ参加したい
2. できれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 全く参加したくない

■社会教育施設についてお聞きします

問 16 下記の社会教育施設の「利用頻度」と「満足度」について、あてはまるものに○を1つ付けてください。「満足度」について、利用していないものは、「判断できない」に○を付けてください。

	利用頻度					満足度				
	週2回以上	週1回程度	月1〜2回程度	年数回程度	なし	満足	やや満足	やや不満	不満	判断できない
公民館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
大津市立図書館(浜大津)	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
和邇図書館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
北図書館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
生涯学習センター	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
北部地域文化センター	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
和邇文化センター	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
科学館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
歴史博物館	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9
葛川少年自然の家	5	4	3	2	1	4	3	2	1	9

■公民館についてお聞きします

問 17 あなたは公民館に、どういったことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学習の内容をもっと充実してほしい
2. サービスを充実するなど、もっと利用しやすくしてほしい
3. 生涯学習についての専門的な指導員を置いてほしい
4. 地域の人が集まる場にしてほしい
5. もっと情報を発信してほしい
6. 場所・部屋の提供をしてほしい
7. 家庭教育などの情報が得られる場所にしてほしい
8. 使用要件を緩和し、利用しやすくしてほしい
9. その他 ()

■大津市が設置している図書館等の利用についてお聞きします。(図書館等とは、大津市立図書館(浜大津)・大津市立和邇図書館・大津市立北図書館・南郷公民館図書室のことをいいます)

問 18 あなたは、大津市が設置している図書館等を利用したことがありますか。(○を1つ)

1. 利用したことがある【問 19 へ】
2. 利用したことがない【問 21 へ】

問18で1. に○を付けた方にお聞きします

問 19 主な利用日はいつですか。(○を1つ)

1. 平日
2. 土曜日
3. 日曜日
4. 祝日
5. 曜日に関係なく利用する
6. その他 ()

問 20 あなたが図書館を利用する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
【回答後、問 22 へ】

1. 本を読むため
2. 本を借りる・返すため
3. 調べ物をするため
4. 生活課題や地域課題を解決するため
5. 図書館で行われている行事に参加するため
6. 友達と交流するため
7. 子ども読書のため
8. CD・DVDなど視聴のため(シネマサロンを含む)
9. 自習のため
10. 他の用事のついでに何となく
11. その他 ()

問 21 大津市が設置している図書館等を利用したことがない人にお聞きします。あなたが利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市立図書館の場所を知らないから
2. 図書館が近くに無いから
3. 県立図書館を利用しているから
4. 図書館に行く時間が無いから
5. 図書館の使い方が分からないから
6. 市立図書館が使いにくいから (駐車場の利用も含む)
7. 読みたい本が無いから
8. 子どもに読ませたい本が無いから
9. 本を読まないから
10. 本は購入して読むから
11. 子どもを連れて行くのが大変だから
12. 高齢、病気のため行けないから
13. その他 ()

問 22 あなたは大津市が設置している図書館等を利用するにあたり、どのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本の種類を増やすこと
2. 児童サービスを充実させること
3. 生活課題や地域課題の解決に向けた支援を充実させること
4. 読書関連事業を充実させること
5. 環境が整っていること
(授乳室、子どものスペース、読書スペース、学習スペースなど)
6. 返却場所や貸出し場所を増やす
7. 開館時間を延長する
8. 開館日数を増やす
9. その他 ()

■子どもの読書活動の推進についてお聞きします

大津市では現在、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。こうした取組に関わって、あなたの読書活動の状況やご意見をお聞かせください。

問 23 あなたは本(漫画、雑誌は除く)を読むことが好きですか。(○を1つ)

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い
4. 嫌い

問 24 あなたは子どもの頃、読み聞かせをしてもらったことはありますか。(○を1つ)

1. よくしてもらっていた
2. 時々してもらっていた
3. あまりしてもらっていない
4. してもらっていない

問 25 あなたは、子どもの読書活動を推進するために、家庭、地域、学校でどのような取組が必要だと考えますか。それぞれで必要だと思うものに○を2つまで付けてください。

(1) 「家庭」での取組 (○を2つまで)

1. 子どもに読み聞かせをする
2. 家庭内で子どもが読書をする時間をつくる
3. 家族で一緒に読書をする時間をつくる
4. 保護者が子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
5. 本を購入するなどし、子どもが読みたい本をいつでも読めるようにしておく
6. 保護者が読書の重要性について理解する
7. 保護者自らが進んで読書をする
8. 保護者が積極的に子どもを図書館などや書店へ連れて行く
9. その他 ()

(2) 「学校」での取組 (○を2つまで)

1. 保育園、幼稚園、学校の先生が子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
2. 学校での読書の時間を増やす
3. 学校図書館に専任の司書職員※1を配置する
4. 学校図書館を子どもが利用しやすいように整備する
5. 学校図書館の蔵書を充実させる
6. その他 ()

(3) 「地域」での取組 (○を2つまで)

1. 地域の人が学校図書館の運営(本の貸出や書架の整理など)に参加する
2. 学校や地域で活動する人や子ども読書活動団体を育成する
3. 図書館などを子どもが利用しやすいように整備する
4. 図書館などの蔵書を充実させる
5. 図書館などで子どもにおすすめの本を紹介したり、読書をすすめる
6. 図書館、学校図書館、子ども読書活動団体のそれぞれが連携を深める
7. 児童館や公民館などで読み聞かせ会やおはなし会などを積極的に実施する
8. その他 ()

※1 専任の司書職員：いわゆる「学校司書」。学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員のこと。平成26年6月に学校図書館法が一部改正され、配置の努力義務が規定されました。

■「おおつ学」についてお聞きします

近年、生涯学習の分野で自分の住む地域のことを学ぶ「地域学」がいろいろな所で展開されており、大津市でも昨年より「おおつ学」を開講しています。

「おおつ学」には、市内で開催される大津に関する講座を集約して紹介する「大津人基礎講座」と、地域リーダーとして必要な知識を学ぶ「大津人実践講座」があります。

問 26 あなたは、「おおつ学」のことをご存じでしたか。（○を1つ）

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 27 「おおつ学」は、以下のようなジャンルに分かれています。この中で、関心があるものに○を付けてください。（あてはまるものすべてに○）

1. まちづくり
2. 子ども・子育て
3. おおつキッズ
4. 歴史
5. 文化
6. 環境
7. 産業
8. どれも関心がない

問 28 あなたは、大津についての歴史や文化、環境等を学ぶ機会があれば、参加してみたいと思いますか。（○を1つ）

1. ぜひ参加したい
2. できれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 全く参加したくない

■あなたの日常のお付き合いについてお聞きします

問 29 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。それぞれについて○を1つ付けてください。

(1) 付き合いの程度（○を1つ）

1. 互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2. 日常的に立ち話しをする程度の付き合いは、している
3. あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない
4. 付き合いは全くしていない

(2) 付き合いしている人の数（○を1つ）

1. 近所のかかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）
2. ある程度の人と面識・交流がある（概ね5～19人）
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下）
4. 隣の人がだれかも知らない

■生涯学習の振興方策についてお聞きします

問 30 今後、人々の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、大津市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住民のニーズに基づき、生涯学習関連施設などにおける学習内容やサービスを充実すること
2. 生涯学習の専門職員（社会教育主事、司書、体育指導員など）を育成すること
3. 生涯学習を支援する地域の人材を育成すること
4. 生涯学習に関する情報を得やすくすること
5. 子どもの教育に関わって学校と地域との連携や協力を深めていくこと
6. 学校図書館などの学校施設を地域に開放すること
7. 団体や個人のボランティア活動を支援すること
8. 生涯学習を通じて身に付けた成果や、その成果を生かした活動に対する世の中の評価を促進すること
9. 企業等の労働時間を短くしたり、有給休暇制度などを普及させること
10. その他（ ）

■あなたご自身についてお聞きします

問 31 あなたの性別はどちらですか。(○を1つ)

1. 女性
2. 男性

問 32 あなたの年代をお教えてください。(○を1つ)

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60代
6. 70代以上

問 33 あなたは今、何をされていますか。(○を1つ)

1. 自営業
2. 会社員・公務員
3. パート・アルバイト
4. 家事専業
5. 学生
6. 無職
7. その他()

問 34 あなたはどちらの地域（学区）にお住まいですか

1. 小松学区
2. 木戸学区
3. 和邇学区
4. 小野学区
5. 葛川学区
6. 伊香立学区
7. 真野学区
8. 真野北学区
9. 堅田学区
10. 仰木学区
11. 仰木の里学区
12. 雄琴学区
13. 日吉台学区
14. 坂本学区
15. 下阪本学区
16. 唐崎学区
17. 滋賀学区
18. 山中比叡平学区
19. 藤尾学区
20. 長等学区
21. 逢坂学区
22. 中央学区
23. 平野学区
24. 膳所学区
25. 富士見学区
26. 晴嵐学区
27. 石山学区
28. 南郷学区
29. 大石学区
30. 田上学区
31. 上田上学区
32. 青山学区
33. 瀬田学区
34. 瀬田南学区
35. 瀬田東学区
36. 瀬田北学区

問 35 最後に、「生涯学習」に関して、あなたのご意見、ご要望などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。